Pioneer

デジタルミラー

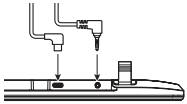
取扱説明書

MSD-DM300

本製品ご利用にあたっての大切なお知らせ

■ケーブル取り付け上のご注意

ケーブルを接続する際は、**プラグ部に荷重がかからないようにまっすぐ挿入してください。**また、**プラグを挿入した状態のまま、ケーブルを無理に引っ張らないでください。**斜めから挿し込むなど、無理な接続を行うと端子破損の原因となります。



目次 *(→ P5)*

はじめに *(→ P6)*

取り付け／接続 *(→ P11)*

使いかた *(→ P25)*

設定 *(→ P28)*

付録 *(→ P31)*

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

carrozzeria

安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
⚠ 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	❗ 必ず行っていただく強制の内容です。
🚫 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

DR-V3.4***

接続・取り付け

⚠ 警告

禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで製品や部品が飛ばされ死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

本機は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良や本機がはがれて、事故の原因となります。

禁止

車両メーカーが指定する禁止エリアや車両の操作を妨げる位置に、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

強制

取付・取外し・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線、取り外しを行うと、車に支障をきたす場合があります。
また、お客様ご自身による取付・配線はケガの原因となりますので、販売店などにご依頼ください。

説明書に従って接続・取り付ける

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コード類はしっかりと固定する

コードを固定する付属部品または市販部品を使用してください。ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、運転操作を妨げ事故の原因となります。また、乳幼児の首などに巻きつく危険があります。

パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉しないように取り付ける

穴あけドリル等がパイプ類、タンク、電気配線などと干渉すると、火災、故障の原因となります。

強制

付属の部品を使用し、固定する
付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。

取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付ける
走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

⚠ 注意

禁止

本機を不安定なところに取り付けない
落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。

コード類の配線は、車体の高温部・金属部・可動部に接触させない
断線やショートによる火災や感電の原因となります。

ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない
製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない
熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。

禁止

水のかかるところや結露、ほこり、油煙の多いところに取り付けない
発煙や発火、故障の原因となります。

強制

シガーライタープラグを確実に挿入する
挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。

シガーライタープラグは定期的に清掃と点検を行う
シガーライターソケットの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。

使用方法

⚠ 警告

禁止

画面だけを見ながらの運転はしない
必ず目視による安全確認を行いながら運転してください。距離感の違いとカメラの死角により人や物にぶつかるおそれがあり、思わぬ事故の原因となります。

大きな音量で使用しない
警告音など車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

液体で濡らさない
発煙、発火、感電の原因となります。

分解禁止

分解や改造、修理をしない
交通事故や火災、感電の原因となります。
コードを切断したり、被覆を切って他の機器の電源をとるのは絶対におやめください。
アースコードの改造や、他の機器のアースコードと途中で接続することは絶対におやめください。

禁止

ぶら下がったり、押したり引っ張ったりして、力を加えたりしない
ケガや車両の変形および故障の原因となります。

シガーライタープラグ挿入中はソケットを回したり押し込んだりしない
接触不良により火災や故障の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

禁止

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

強制

実際の交通規制に従って走行する

ルート案内が実際の交通規制に反している場合があり、交通事故の原因となります。

専用のシガーライタープラグを使用する

専用のシガーライタープラグ以外を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

使用後または長時間使用しない場合はシガーライタープラグを抜く

車種によってエンジンを切ってもシガーライターソケット電源が切れない場合があり、火災やバッテリー上がりの原因となります。

フロントガラスに貼り付ける機器等は、車を止めてから操作する

無理な姿勢で操作すると運転操作を誤り事故の原因となります。

⚠ 注意

禁止

本機は自動車用途以外で使用しない

発煙や発火、感電やケガの原因となります。

本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

キャッシュカードなどを本機に近づけない

磁気データが消去されることがあります。

シガーライタープラグを濡らしたり汚したりしない

火災、感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。

本機をフロントガラスと車用サンシェード等の間に挟み込まない

熱がこもり、本機の変形や故障の原因となることがあります。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

注意

車両から乗り降りするときなどは、製品に頭部をぶつけないように注意する

ケガの原因となります。

注意

温度の上昇に注意する

夏の炎天下、直射日光を浴びている場合など、表面が高温になるので触る場合は十分注意して触れてください。車のダッシュボード同様に高温になります。

異常時の問い合わせ

⚠ 警告

強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口に相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

どのようなタイミングまたは操作をした場合に、その異常事象が発生したかの詳細情報をできる限り販売店かサービス相談窓口にお伝えください。

目次

本書の見かた 6
使用上のご注意.....7
付属品を確認する.....8
各部の名称とはたらき 9
取り付けの前に知ってほしいこと.....11
取り付け 15
接続と配線 21
取り付け、接続・配線後の確認 24
本機の使いかた.....25
本機の設定 28
故障かな？と思ったら.....31
仕様.....32
リサイクルご協力のお願い 33
保証書とアフターサービス 34

本書の見かた

表記と意味

取り扱いで注意していただきたいことや、本機の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。

・○○○○○○○○

操作する上でのヒントや、機能に関する補足について説明しています。

【○○】

画面に表示される選択項目を表します。

「○○○○」(→P##)

参照していただきたい箇所や設定項目を表します。

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

使用上のご注意

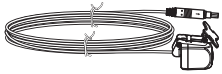
⚠ 本機取り扱いに関するご注意

- 運転者は走行中に設定操作などしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 60 ℃以上の高温または -10 ℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機の電源をオフし、使用しないでください。
- 電源供給時には必ず付属のシガーライター電源ケーブルを使用してください。
- レンズ部を手で触らないでください。触ってしまった場合は、柔らかい布で拭いてください。

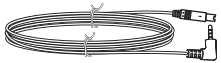
付属品を確認する

① 本体× 1

② リアカメラ（3 m）× 1

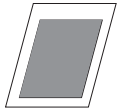


③ リアカメラ中継ケーブル（6 m）× 1

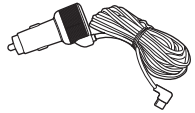


④ 車外取付ブラケット× 1

⑤ 防水シート× 1

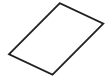


⑥ シガーライター電源ケーブル（4 m）× 1



⑦ 取扱説明書× 1

⑧ 保証書× 1



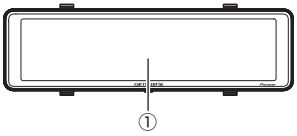
⑨ クリーナークロス× 1

⑩ 本体固定用バンド（短）× 2
本体固定用バンド（長）× 2

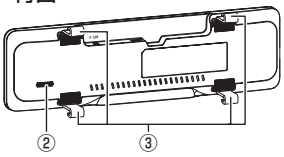
各部の名称とはたらき

■ 本体

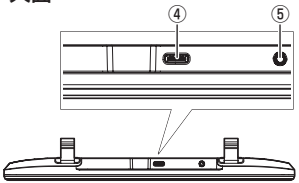
正面



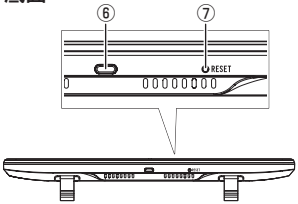
背面



天面



底面



① **液晶モニター (タッチパネル)**

本体の電源が入っていないとき、または液晶モニターをオフにしたときは通常のルームミラーとして使用できます。

② **スピーカー**

③ **固定用バンドハンガー**

付属の本体固定用バンドを引っかけて純正ルームミラーに本体を固定します。

④ **電源ボート**

付属のシガーライター電源ケーブルを接続します。

⑤ **リアカメラ接続端子**

リアカメラを接続します。

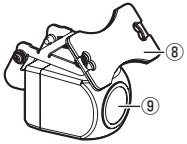
⑥ **液晶モニターオン / オフボタン**

押すごとに液晶モニターのオン / オフを切り替えます。

⑦ **リセットボタン**

ボールペンの先などで押すと、本機をリセットできます。

■ リアカメラ



⑧ **車内取付ブラケット**
工場出荷時は、車内取り付け用のブラケットがセットされています。
リアカメラを車外に取り付ける場合は、付属の車外取付ブラケットに付け替えてください。

⑨ **レンズ**

取り付けの前に知ってほしいこと

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- 必ず車両の備品および運転に支障のでない場所に本機を取り付けてください。

⚠ 取り付け上のご注意

本体およびリアカメラに共通なご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
  * 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条及び細目を定める告示第 195 条をいいます。
- 本機で表現するすべての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ず実際に目視で安全を確認しながら走行してください。
- 本体およびリアカメラを塞がないでください。
- 本体およびリアカメラを落下させないようにしてください。
- 作業場所は、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 車種によって、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- 道路運送車両法に基づく保安基準により、本製品を取り付けると保安基準を満たせなくなる車両があります。以下の条件を満たす車両への本機の取り付けは行えません。
  - 令和 4 年 5 月以降に発売および登録された車両 (継続生産車は令和 6 年 11 月以降に登録された車両)
  - バックカメラの映像がルームミラーのモニターのみで表示される車両 (道路運送車両の保安基準第 44 条の 2(後退時車両直後確認装置)、細目公示第 224 条の 2)

- カメラによる直前直左右確認装置や直前側方確認装置の表示がルームミラーのモニターのみで表示される車両は、本製品を取り付けると保安基準を満たせなくなります。この車両への本機の取り付けは行えません。(道路運送車両の保安基準第 44 条 (後写鏡等)、細目公示第 224 条)
- 衝突回避システム (カメラ) などを搭載した車両の純正ルームミラーに設置すると、衝突回避支援システムに影響する可能性がありますので、取り付けの可否については車両メーカーにご確認ください。
- ケーブルを抜き挿しする際は、必ずプラグ部を持ってまっすぐに抜き挿ししてください。斜めから挿し込むなど、無理に抜き挿しを行うと端子破損の原因となります。取り付け角度によりまっすぐ抜き挿しできない場合は、角度を変更したり一旦取り外したりするなどして抜き挿しを行なってください。

リアカメラに関するご注意

- リアカメラのレンズに触れたり、汚したりしないでください。取り扱いには十分ご注意ください。
- リアカメラをリアガラスの内側に取り付けるときは、以下の点にご注意ください。
  - 熱線がある場合は、熱線を避けて取り付ける。
  - リアワイパーがある場合は、ワイパーの拭き取り範囲に入るように取り付ける。(雨天時の水滴、ガラスの汚れにより映像が見づらくなるため)
  - ハイマウントストップランプからできるだけ離して取り付ける。
- リアカメラを車体に取り付けるときは、以下の点にご注意ください。また、指定通り正しく取り付けないと「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。
  ※ 道路運送車両の保安基準とは「道路運送車両の保安基準第 18 条及び細目を定める告示第 178 条」をいいます。
  - 確実に取り付け、固定する。
    確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険があります。
  - 雨や霧の中では取り付け作業を行わない。
  - フッ素樹脂加工処理された車体やワックスの付いた場所に取り付けない。
    リアカメラが落下する恐れがあります。
  - リアカメラに無理な力を加えない。
  - 取り付け後、24 時間以内は次のことを守る。
    ・水をかけない。
    ・雨に濡らさない。
  - ケーブルを伝って雨水などが車内に侵入しないよう、防水処理を行う。
  - 走行時、リアカメラに直接風が当たる場所には取り付けない。
  - ネジが緩んでいないか定期的に点検する。

- 自動洗車機、または高圧力の水で洗車は行わない。
  リアカメラ内に水が入ったり、リアカメラが落下したりする恐れがあります。
- リアカメラレンズ表面やリアカメラ本体が凍結した場合にライターなどで加熱しない。故障の原因となります。

• レンズの近くに反射物を置かないでください。
• 自動車のガラスにコーティング剤または特殊加工が施されている場合は、映像品質に影響が出る可能性があります。(スモークフィルムを貼っている場合など、後方が見えにくい映像が表示されることがあります。)
• 気温が低いときやガラスがくもっている場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にしてウィンドウを暖めておいてください。
• 両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずリアカメラを仮留めし、ケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

本体に関するご注意

• 純正ルームミラーの調整部が緩くなっている場合、本機を取り付けると、走行時に受ける振動によって本製品の本体が共振し、本体や液晶モニターの映像が振れる場合があります。また、ミラーの角度がずれる場合があります。
• 本機の画面表示をオフしたときに本機のデジタルミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。しっかり見えないと事故等の原因になります。
• 本機を取り付けると、車のサンバイザーに干渉する場合があります。
• 本機を取り付けると、純正ルームミラーの防眩機能はご使用できません。また、防眩レバーが本機に干渉する場合があります。
• 本機の取り付け位置や純正ルームミラー周辺の電装機器によっては、双方の動作に影響が出る場合があります。
• 本機を取り付けた後、少しの力で動いてしまうことがないか確認してください。弱い力や振動で動いてしまう場合は、純正ルームミラーの可動部に異常がないか確認してください。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼り付ける前に

両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

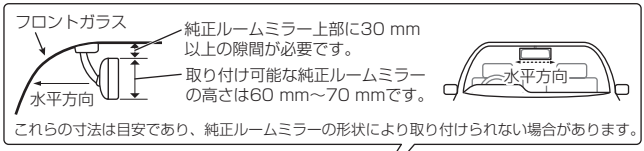
取り付け

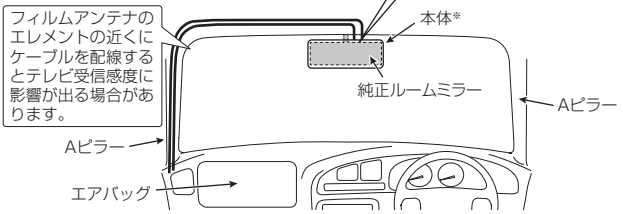
本体

取り付け推奨位置

本体を取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

- 純正ルームミラーと車内の天井の間に 30 mm 以上の隙間を確保できる位置
- シガーライター電源ケーブルやその他の接続ケーブルが無理なく引き回せる位置





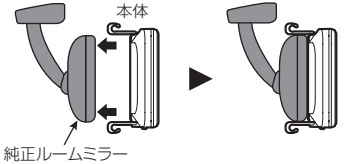
※運転支援システム装着車では、アクセサリー用品の装着禁止エリアを設定している場合があります。詳しくは車両側の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 必ずお守りください

- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「本体取り付け推奨位置」に取り付けてください。推奨位置以外に取り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

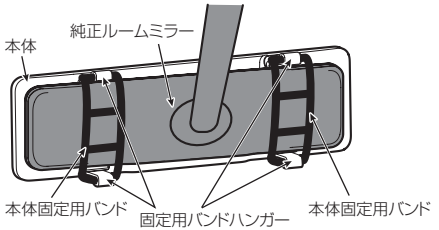
取り付けかた

1 本体を純正ルームミラーに取り付けます



2 付属の本体固定用バンドを本体の固定用バンドハンガーに引っかけて、純正ルームミラーを挟んで固定します

純正ルームミラーの大きさに合わせて、本体固定用バンド短または長を選んでください。

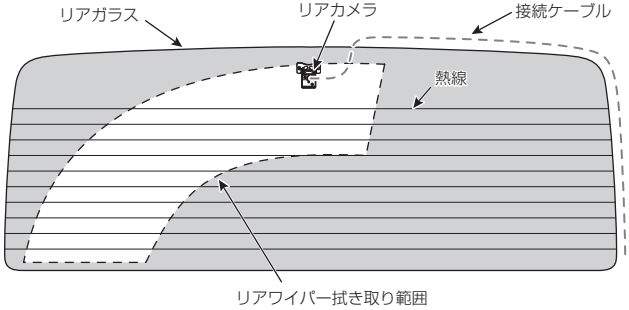


リアカメラ

取り付け推奨位置（車内）

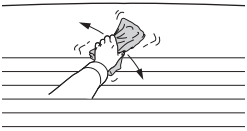
リアカメラをリアガラス（車内）に取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

- リアカメラのレンズ部分がワイパーの拭き取り範囲内に入る位置
- リアカメラが後方および左右に対して水平方向を向く位置
- リアカメラのレンズ部分および両面テープが熱線と重ならない位置
- リアカメラの接続ケーブルが無理なく引き回せる位置



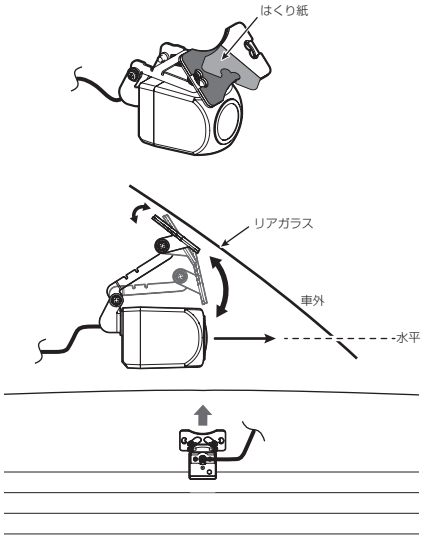
取り付けかた（車内）

1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます



2 リアカメラを取り付けます

①：取付ブラケットの両面テープはくり紙を剥がします。
②：レンズを車外に向け、取付ブラケット接着面の角度をリアガラスの角度に合わせます。
③：リアカメラの映像が水平に表示されるようにリアガラスの取り付け推奨位置に貼り付けます。



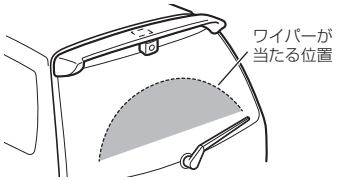
⚠ 剥がれないようにしっかり取り付ける

- 正しく取り付けられていないと、走行中に剥がれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

取り付け推奨位置（車外）

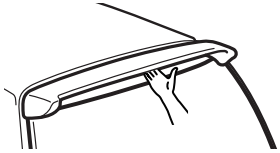
リアカメラを車外に取り付ける場合、以下の条件を全て満たす車両および位置への取り付けを推奨します。

- リアカメラがワイパーの可動範囲に接触しない位置
- なるべく雨の影響を受けにくい位置
- 車両最後尾部からはみ出さない位置
- 車幅に対してなるべく中央付近となる位置
  （左右に大きくずれて取り付けると、リアカメラの映像と実際の見え方のずれが大きくなるため）
- 後方の視界を妨げない位置
- 取り付け後にリアカメラの側面にあるネジが回せる位置
  （ネジを緩め、上下の角度を調整するため）
- リアカメラが後方および左右に対して水平方向を向く位置
- リアカメラの接続ケーブルが無理なく引き回せる位置

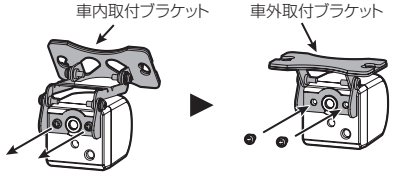


取り付けかた（車外）

1 クリーナークロスで取り付け部分の汚れ・油などを取り除きます



2 車内取付ブラケットを外し、付属の車外取付ブラケットに付け替えます

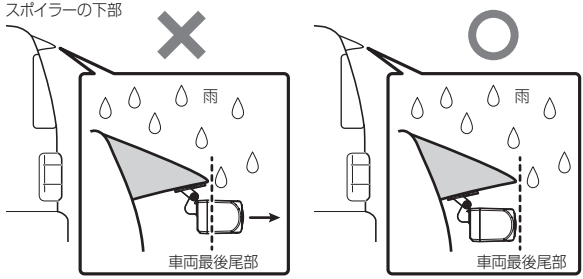


取付ブラケットを固定するネジは予備がありません。失くさないように注意してください。

3 リアカメラを取り付けます

①：取付ブラケットの両面テープはくり紙を剥がします。
②：レンズを車両後方に向け、取付ブラケット接着面の角度を貼り付け面の角度に合わせます。
③：リアカメラの映像が水平に表示されるように取り付け推奨位置に貼り付けます。

歩行者等に当たらないよう下図のように取り付けてください。また、なるべく雨の影響を受けにくい位置、車両最後尾部からはみ出さない位置に取り付けてください。

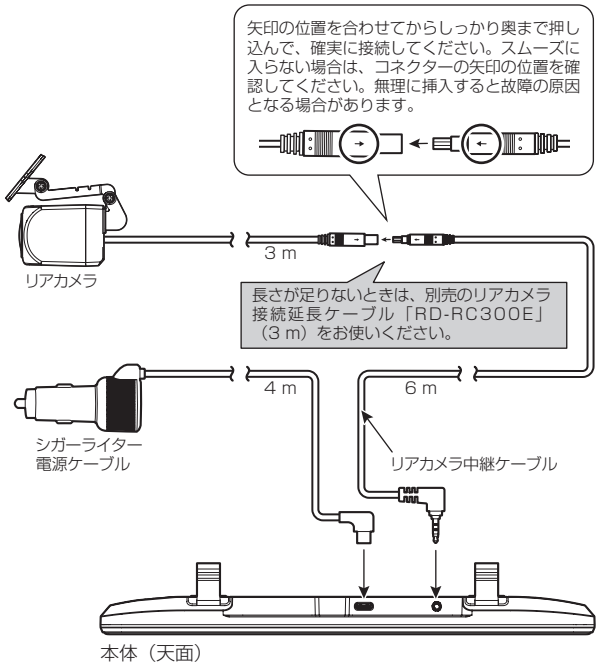


⚠ 剥がれないようにしっかり取り付ける

- **正しく取り付けられていないと、走行中に剥がれて事故の原因になります。ときどき点検してください。**

接続と配線

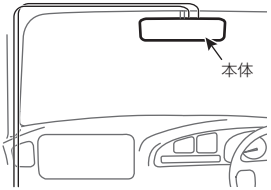
1 本体にシガーライター電源ケーブル、リアカメラを接続します



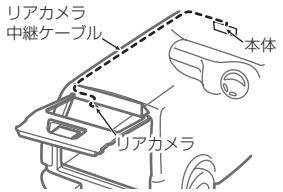
⚠ ケーブル取り付け上のご注意

- ケーブル挿入の際は、プラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに挿入してください。斜めから挿し込むなど、無理な接続を行うと端子破損の原因となります。

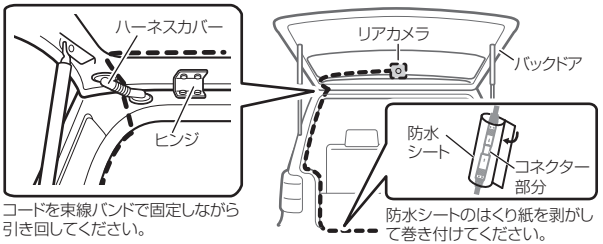
2 シガーライター電源ケーブル、リアカメラを助手席側に引き回します



リアカメラの配線例（車内）



リアカメラの配線例（車外）

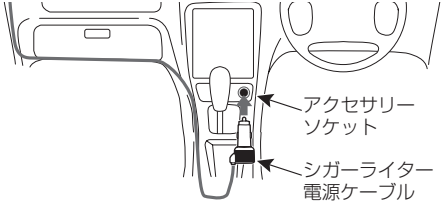


コードを束線バンドで固定しながら引き回してください。

防水シートのはく り紙を剥がして巻き付けてください。

3 シガーライター電源ケーブルを車のアクセサリーソケットに接続します

車のアクセサリーソケットに奥までしっかり押し込んで、確実に接続してください。正しく通電している場合は、シガーライター電源ケーブルのインジケーターが光ります。（アクセサリーソケットの位置は車によって異なります。）



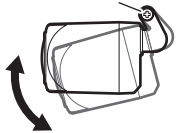
⚠ 注意

- **シガーライター使用直後はアクセサリーソケットが高温になっています。そのままシガーライター電源ケーブルを挿入すると先端が溶断・ショートする可能性があります。しばらく時間をおいて熱が冷めてからシガーライター電源ケーブルを挿入してください。**

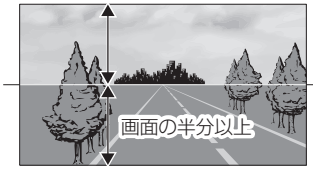
取り付け、接続・配線後の確認

1 車のエンジンをかけて基本画面を表示します

2 車両後方の映像が適切に表示されるようにリアカメラのレンズの角度を調整します



取り付けの際、リアカメラのレンズを車外に向けてください。
リアカメラの角度調整はねじを緩めてから行い、調整後にねじを締めてください。画面に映る地面（道路）の割合が半分以上となるようにリアカメラのレンズの角度を調整します。



⚠ リアカメラを調整するときはねじを緩めて行う

- **ねじを締めた状態で角度調整を行うとブラケットとカメラの勘合部分が破損する可能性があります。**

- お買い上げ時は、液晶モニター / リアカメラのレンズに保護フィルムが貼られています。取り付けが終わったら、剥がして使用してください。

本機の使いかた

⚠ ご注意

- 必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

本機の電源について

本機は、車のエンジンをオン（ACC ON）にすると起動し、車のエンジンをオフにすると電源がオフになります。

液晶モニターをオン／オフする

液晶モニターがオンの状態で液晶モニターオン / オフボタンを押すと、液晶モニターがオフになり、ルームミラーとして使用できます。
ルームミラーとして使用中に液晶モニターオン / オフボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。

画面の操作ついて

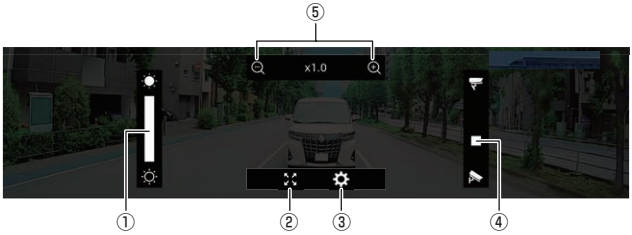
起動後は基本画面が表示されます。基本画面表示中に本体の液晶モニターにタッチすると HOME 画面を表示します。HOME 画面の各アイコン部分にタッチすると関連機能の操作ができます。

- HOME 画面を表示してから約 10 秒間なにも操作しなかった場合は、自動的に基本画面に戻ります。

基本画面

① **リアカメラの映像**

HOME画面



① **画面の明るさの調整**
タッチしながら上下に動かして、画面の明るさを調整できます。

② **プリセット表示倍率の切り換え**
タッチして、あらかじめ設定した表示倍率に切り換えることができます。もう一度タッチすると前の倍率に戻ります。

③ **各種設定**
「本機の設定」(→P28)

④ **表示エリアの調整**
タッチしながら上下に動かして、液晶モニターに表示する領域を調整できます。

⑤ **カメラ映像の表示倍率の調整**
タッチするごとに映像を拡大または縮小できます。現在の表示倍率も同時に表示します。

本機の設定

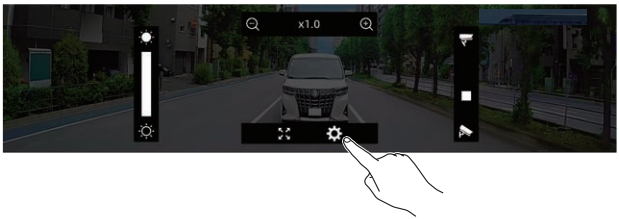
本機に関する設定が行えます。また、設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

⚠ ご注意

- 必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 本体の液晶モニターをタッチして、HOME 画面を表示します

2 ⚙にタッチします



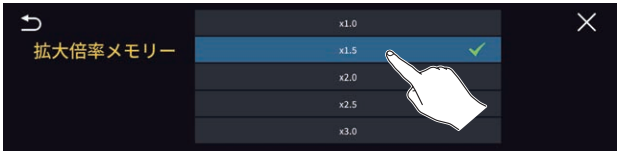
以降表示される各画面において、約 30 秒間何も操作が行われなかった場合は、自動的に基本画面に戻ります。

3 設定項目を選んでタッチします

ここでは [拡大倍率メモリー] を選んだ場合を例に説明します。

4 設定したい項目をタッチします

現在設定されている項目はチェックマークが付いています。



タッチした項目にチェックマークが付き、前の画面に戻ります。

・操作の途中の画面で ⮌ にタッチすると、直前の画面に戻ります。✕ にタッチすると、設定メニューを終了します。

設定できる機能

太字：工場出荷時の設定値です。

設定項目	設定内容	設定値
拡大倍率メモリー	プリセットの表示倍率を設定します。 *「プリセット表示倍率の切り換え」(→ P27)*	[x1.0]/[x1.5]/**[x2.0]**/[x2.5]/[x3.0]
露出補正	リアカメラの露出を設定できます。[+] は明るく [-] は暗く調整できます。	[+2.0]/[+1.5]/[+1.0]/[+0.5]/**[0.0]**/[-0.5]/[-1.0]/[-1.5]/[-2.0]
システム音量	操作音量の設定ができます。オフに設定することもできます。	[OFF]/[小]/**[標準]**/[大]
工場出荷状態に戻す	設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。	—
ファームウェアバージョン表示	本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。	—
OSS	本機の OSS ライセンス情報を確認できます。	—

- 設定項目の中には露出補正など実際の映像に影響するものがあります。時間帯など様々な状況によっても見え方が変わる場合がありますので、設定を変更した際は実際の映像を事前に確認することをおすすめします。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記内容をご確認ください。

症状	原因	対処
本機の表示や動作がおかしくなった。	本機のマイコンが誤動作を起こしている。	リセットボタンを押してください。*「各部の名称とはたらき」(→ P9)*
純正ルームミラーが傾いてしまう。	純正ルームミラーの角度調整部分が破損している。	車両ディーラーにご相談ください。
	純正ルームミラーの角度調整のネジが緩んでいる。	純正ルームミラーに調整ネジが付いている場合は調整ネジを締めて、角度が容易に変わらないように調整してください。

仕様

型番	MSD-DM300
撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー 有効画素：約 200 万画素
画角	水平 112.0°　垂直 59.0°（対角 130.0°）
F 値	F1.8
カメラ解像度	1 920 × 1 080 P
画質補正技術	HDR
ディスプレイ	11V 型 フルカラー IPS 液晶
フレームレート	27 fps
電源電圧	DC12 V/24 V（専用電源ケーブル付属）
消費電力	5.5 W
動作温度	本体：− 10 ℃ ～ + 60 ℃ リアカメラ：− 30 ℃ ～ + 70 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行）	本体：257.6 mm × 74.0 mm × 21.0 mm（幅 × 高さ × 奥行） リアカメラ（ブラケット含まず）： 23.6 mm × 23.6 mm × 33.3 mm（幅 × 高さ × 奥行）
質量	本体：340 g リアカメラ：21 g（ブラケットおよびケーブル含まず）
取付推奨角度	リアカメラ：10°～85°

リサイクルご協力のお願い

本品は小型家電リサイクル法の対象です。一般ごみとしての廃棄をしないでください。
使用済の製品はお住いの自治体の指示に従って廃棄してください。
使用済製品に含まれる貴重な資源の有効活用にご協力ください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より 3 年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります）。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。尚、生産終了により補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取り付け店にご相談ください。

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページ「オーナーズリンク」にて可能です。
以下URLにアクセスして登録を行ってください。
https://car-users.pioneer.jp/

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。
弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。
必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>
「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。
携帯電話からは、IP電話をご利用下さい。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

■お客様サポートサイト
https://jpn.pioneer/ja/support/ ▶

■商品についてのよくあるお問い合わせ(FAQ)
https://faq.jpn.pioneer/s/ ▶

■電話　《カーナビゲーション、カーAV、ドライブレコーダー、その他システムアップの商品》
※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください
【固定電話から】**0120-944-111**(無料)　【携帯電話から】**050-3097-9332**(IP電話・有料)
※カーナビゲーションの訪問宅電話番号検索機能に関する個人情報の削除などはこちらの窓口で承っております

■ファックス　**0120-105-680**(無料)

修理についてのご相談窓口 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『**故障かな?と思ったら**』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

■修理受付サイト
受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください
https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/ ▶

■電話　【固定電話から】**0120-5-81028**(無料)　【携帯電話から】**050-3097-9104**(IP電話・有料)

■ファックス　**0120-5-81029**(無料)

令和7年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.14

パイオニア株式会社
〒113-0021
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

© パイオニア株式会社 2026
< KYTZ26C > < CYR1401-A>